

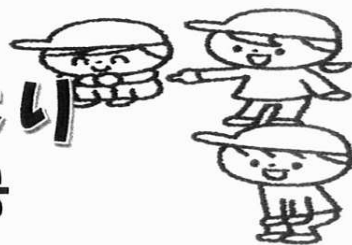
ちゅうりっぷ組だより

ときわ保育園

3月号

令和5年3月22日

担当 森本



昼夜の寒暖の差はありますが、日中はポカポカな陽気を感じられるようになりました。



さて、ひなまつりの日は雛段飾りを見に行くと興味津々の子もいれば、お人形さんを怖がってしまう子が見られました。保護者の方と一緒に製作をした作品もお部屋に飾り、玄関の方に飾っていたので指を差して「みてみて」と保育者に伝えるようとする姿はとても可愛らしかったです。

引き続き、いろいろな行事に参加し、触れる楽しさを感じていけるよう配慮していきます。



散歩では、ベビーカーに乗って園の周りを散歩することが多かったのですが、近頃は遊歩道を保育者と手を繋いで歩き、公園に着くと階段を登ったり、いつもとちがう遊具に興味を持って遊んでいます。なかには、滑り台の上へ昇って座って動けなくなってしまう子もいます。怖そうな様子を見せる子に保育者が手を繋ぎ、手すりにつかまったりして最後は保育者の膝の上に座って一緒に楽しく滑っています。活発になってきたことでいろいろなことに挑戦しています。

これからも出来た喜びを楽しく感じていけるよう保育内容を考えて私たちも関わりを持って促していきたいです。

今年度は、ご理解ご協力の程、本当にありがとうございました。あと少しの間ですが、子ども達との時間を大切に、毎日を明るく元気いっぱい過ごしていきます。

